



河村 晴久 Haruhisa Kawamura

能楽舎 河村晴久オフィシャルサイト
<https://www.nohgakusha.com/>

能楽師 観世流 シテ方
重要無形文化財「能楽」総合認定保持者
同志社大学 客員教授

昭和31年生まれ。幼少より父河村晴夫の教えを受け3歳にて初舞台。13世林喜右衛門師に師事。京都河村能舞台を中心に活動。

演能活動とともに能の歴史を研究し、同志社大学大学院修了。神戸大学非常勤講師、京都市立芸術大学大学院非常勤講師、京都光華女子大学非常勤講師、近畿大学非常勤講師、同志社大学客員教授等を歴任。

平成17年度文化庁文化交流使として1ヶ月半アメリカ・カナダに滞在。ハーバード大学始め、多くの大学、美術館で講義、公演の文化交流を行う。海外での英語での授業、レクチャーデモンストレーションも多数。京都府文化賞功労賞を受賞（令和2年度）



令和6年 河村晴久 演能予定

5月3日(祝金) 河村定期研能会 能「采女」シテ

7月14日(日) 能へのいざない 能「曲未定」シテ

9月14日(土) SHITE。(旧林定期能) 能「菊慈童遊舞之楽」シテ

12月14日(土) 能へのいざない 能「曲未定」シテ



お問い合わせ、お申し込み
⇒ 能楽舎
TEL 075-432-4875
Email
info@nogakusha.com

一般社団法人京田辺市文化協会 (京田辺市立中央公民館内) 〒610-0331 京都府京田辺市田辺丸山 214

E-Mail : info@kyotanabe-bunka.jp ホームページ:<https://kyotanabe-bunka.jp/>

☎(0774)29-9118 (火曜～土曜日 午前9時～正午) FAX(0774)29-9119



京田辺市文化協会

会員募集

- ・会員の皆様には「一般社団法人京田辺市文化協会だより」をお送りいたします。
- ・一般社団法人京田辺市文化協会が主催するイベントに優先的に参加・出演していただくことができます。
- ・正会員は、中央公民館・とうちく・せせらぎの減免措置を受けることができます。
- ・一般会員はその活動において文化協会の講演を取得できます。
- 【正会員】 サークル(構成員5名以上): 入会金0円 年会費500円×人数/支部: お問い合わせください
- 【一般会員】 法人・サークル・団体: 入会金3,000円 年会費5,000円/ 個人: 入会金1,000円 年会費1,000円

※会員登録のお手続き等、お気軽にお問い合わせください。☎0774-29-9118

2024年4月20日発行

増刊号

一般社団法人 京田辺市文化協会 だより



〒610-0331 京都府京田辺市田辺丸山 214(京田辺市立中央公民館内)

発行・編集 一般社団法人京田辺市文化協会

TEL0774-29-9118/FAX0774-29-9119

ホームページ:<https://kyotanabe-bunka.jp/>

E-mail:info@kyotanabe-bunka.jp



京田辺市文化協会

【創立60周年記念対談を行いました】

令和6年(2024年)2月19日(日)に能楽師河村晴久さまと一般社団法人京田辺市文化協会理事長山際雅詩が文化対談を行いました。一般社団法人京田辺市文化協会の創立60周年を記念し行われた対談では、これからの社会を見据えた文化のあり方について、また、文化協会が文化を通じてまちづくりにどのような貢献ができるか、「文化」とは何か、まちの魅力を高め、住み続けたいと思えるまちをつかっていくために「文化」ができることとは、などについて、さまざまな貴重なお話をお伺いすることができました。河村晴久さま、ありがとうございました。今後の文化協会の活動に活かし、より一層、文化を通じた魅力あふれるまちづくりをすすめてまいります。

対談の内容は紙面の都合上、一部抜粋になりましたことご了承くださいませ。



(山際理事長) この度は、一般社団法人京田辺市文化協会 60 周年記念対談ということで、お忙しい中、お引きうけくださりまして、ありがとうございます。文化ってそもそもどういうもので、どんなふうと考えていったらいいのか先生のお話を伺いたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

(川村先生) お願いいたします。文化、文明がどんなものかというのは、議論がよくあり、皆さん色々考

えられるところですけども、簡単に言ってしまうと、文化っていうのは人間が人間らしく心豊かに生きるための大切なものだと思うんですね。古典芸能とかも、もちろん文化ですけども、生活そのものがもう生活文化なんです。文化っていうのは環境にものすごく影響されるものだから、周りの環境とともにある。世界各国みんな文化が違って当たり前なんです。人間が人間らしく生きているもの、全てが文化の活動であるように思うんですね。

-日本文化とは-

(河村先生) 日本文化の特殊さは、残し続けるところにあるんです。新しいものを創造していくことも大事なんだけど、日本は元あったものはそのまま残し、そこに新しいものを作り出していく。ずっとやり続ける。そこに価値を見出す。例えば庶民芸能、猿楽ができて、能ができた。文楽ができて、歌舞伎ができて、全部積み重なっていくんですね。もちろん時代が変わると能も変わる。当たり前なんです。なぜ変わったか。当時の人がいいと思ったから変わるんです。いいと思う方向にしか変わらないですよ。どう変わったのかずっとたどってくと 見えてくるものがある。表面的にはどんどん変わっても、その中で変わらない方向性があるんですよ。世阿弥が今の能を見たらびっくりする。でも世阿弥の目指した美的世界、人間の精神の世界の方向性を保ち続けて、今があるんです。

(山際) 700 年、続いてきたということは、そこにあるということですね。文化っていうのは、それぞれの、その時代の人たちの生き方に関連している。伝統的に続いてきて、変わらないところもあるけれど、時代とともに変わってきたからこそ今がある。今まで続いてきたと。

(河村先生) そうなんです、人々の感性は当然変わる。その時代の同時代性、感動がなければ、芸能って滅びるんですね。面白くなかったら、感動がなかったら、なくなるんですね。

(山際) そこは結構大事なところですよ。

(河村先生) 大流行してたのに、今はないというのは、魅力を失ったからなんです。

(山際) なくなっていても仕方がない。

(河村先生) 仕方がないですよ。でも、いいものがあるのに、知らないことでなくなるのは残念なんです。生活文化のあらゆるものがそうです。どんどん忘れられるんですね。

(山際) どうしたらいいんでしょうね。



-文化を通じたまちづくりとは-伝えることの大切さ

(河村先生) それって結局ね、その風土にあった習慣でしょ。地元を愛する、地元のことを知ることがすごく大事だと思うんですね。京都やったら京都のことを。田辺やったら田辺のことを。京田辺って古い時代から開けた、最先端の地域だったわけですからね。

(山際) 奈良時代では最先端だったと思うんです。

(河村先生) そうなんですよ、文化が入ってきて栄えていた地域でもんね。なぜそうだったかという、いい地域だったから。交通も土地も海外との関係でも。今、交通も変わり、人の流れも変わるけど、その中でどういうものがあるのか。

(山際) ただそういったものを受け入れることのできる素養を皆が持たないと。

(河村先生) そうなんですね。小学校、幼稚園からでもそういったものに触れる機会を作った方がいいですよ。心が豊かになるっていうことが一番大事だと思うんです。大人が子供たちに、地域にこんなものがあるのよとかいうことをどんどん伝えられればいいですね。子供たちにそういうふうなことに触れてもらうようなことを機会をつくり、子供たちと共有できたら。

(山際) ということは教育がやっぱり大事。

(河村先生) すごくそれは思います。やっぱり家庭、地域全体で、その地域の文化を。

(山際) 地域全体での取り組みが大切になってきますね。

(河村先生) 知る機会をどんどん増やしていく。文化の振興のため、その地域のものについていろいろ考える。こういうことが地域全体でできたらいいですよ。そのためには異分野の交流がすごく大事だと思うんですよ。やる気のある人たちが集まって、話題を決めてみんなで喋り合う。例えば「文化の継承ってどうしたらいいんやろう」という話題から、「私のとこ、こんなんやってるけど、こんな悩みがあるんだ」とかいう話がいろいろ出てきたりする。

(山際) それは田辺でもできそうです。皆様集まっていいただいてお話を聞いて、そういうところから生まれていくんですね。

(河村先生) そうです。そういうことしていると、何か新しい見え方ができてくるんです。

(山際) いろんなやる気のある人、熱量の高い人が集まりますね。

(河村先生) そうなんです。いろんな分野に興味のある人が集まるのが面白いんです。広く見渡してられる方のお話っていうのはすごく面白いし勉強になるんですね。いろんなことが繋がってくると面白い。そういう異分野の人を集める出会いの場がなかなかないんですよ。

(山際) それはありますね。みんなどこで何をしてはるのかを知る機会がありません。今後の課題にします。

この後、文化は、人は、違っても当たり前、だからこそ皆が共感し、許容する日本の考え方のよさ、反戦思想や SDGs など現代でも大切なテーマを扱ってきた「能」について、などたくさんのお話を、とてもわかりやすくお話をいただきました。

